

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	徳島大学				
取 組 名 称	地域社会人ボランティアを活用した教養教育				
取組学部等	全学				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A22052	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	教養教育	FD・SD		地域活性化	
キーワード	教養教育, 学びのコミュニティー, 社会性形成, 社会人, 知の循環型社会				

<選定理由>

本取組は、教員、学生、社会人の三者による相互学習の観点から学生の社会性形成に取り組んだプログラムとして評価できる。特に、教員、学生、社会人の三者がそれぞれの立場で主体的学習に参加する場を「学びのコミュニティー」として位置づけ、その場を通じて三者それぞれが得るべき目標を明確に想定しているところは、これまでの地域や社会人との連携実績を背景にしているだけに、高く評価できる。こうした取組が単なる一方通行的な座学を超えることを要請している社会のニーズに応じるものであることを考えると、有意義なプログラムといえる。3つの方針もよく整えられており、特にGPC（授業ごとのGPのクラス平均）の学内公表を実施していることは、成績評価の厳格性をよく担保するものと評価できる。

ただし、参加する社会人の教育上の資質をいかに維持確保するのか、また、こうしたプログラムに共通して指摘されていることでもある、漠然とした「社会性の獲得」という到達目標のあいまいさをいかに克服するのか、これらの基本的な課題について今後の努力を期待したい。

取組の概要【1 ページ以内】

徳島大学は、「人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門能力と自立した未来社会の諸問題に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成に努める」ことを教育理念としている。この理念の実現には、その礎となる初年次教育・**教養教育**の充実が肝要であるとの認識に立ち、平成20年度から、少人数による体験型学習に特化した「**社会性形成科目群**」を新設した。その過程で、**地域社会人**が参加する授業を設け、学生・教員とともに学びあうことにより、三者がそれぞれ活性化されること、人間力や**社会性**の**形成**、さらには進取の気風の涵養に有用であることなどが明らかになった。

そこで、地域社会の様々な分野で活躍し、大学教育・**教養教育**に造詣の深い本学卒業生を含む社会人をボランティアとして広く迎え入れ、学生・**社会人**・教員の三者で互いに学び合う場としての「**学びのコミュニティー**」を構成し、次の取組を行うこととした。

- ①少人数、体験型の**社会性形成科目群**の全ての授業に「**学びのコミュニティー**」を構成する。
これを教養科目の授業にも広げていく。
- ②「**学びのコミュニティー**」の代表が全学共通教育の運営組織に参画し、授業の企画運営に携わる。
- ③相互授業参観等による学び合いの機会を設ける
- ④「**学びのコミュニティー**」による活動を、PDCA サイクルに組み込み、教育改善の一助とする。
これらの成果を大学内外の学会等で発表する。また外部評価を受ける。

社会人・学生・教員による「**学びのコミュニティー**」を通して、学生は、自主的学習態度を育むとともに、学生力を高め、人間力や**社会性**を**形成**することが可能となる。教員は、学生や**社会人**と共に学ぶことにより、さらに幅広い分野での教授力を身につける。**社会人**は、学生の教育に参画することにより、生涯学習の動機づけを図りながら、学びを深める。このように、「**学び合う地域社会**」を大学の中に構築することが、学生・社会人・教員、それぞれの学びを深め、その流れはやがて他大学、そして地域へと知の循環が広がっていく。

今回の取組は、地域の特色を生かした**教養教育改善**の一モデルとして、その成果を社会に発信することにより、大学を中心とした**知の循環型社会**の構築をめざすものである。

